

蛋白研/JAICI合同 CSD 利用セミナー2025 2025/8/21@ 化学情報協会Zoom

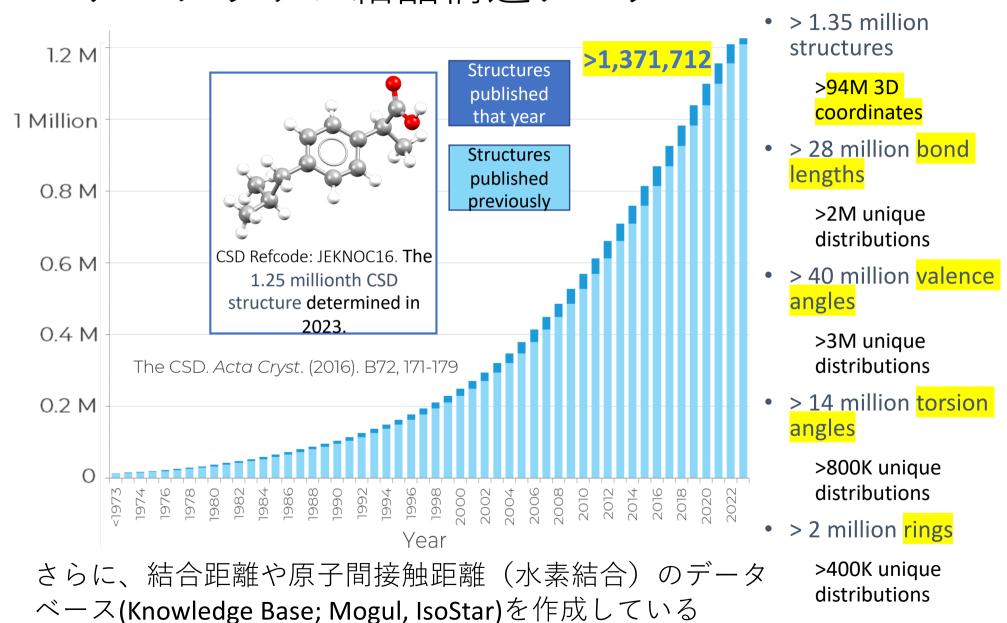
CSD-Materials

東京科学大理学院 植草秀裕

内容や図表はCCDCのWeb siteや資料から引用しています。ご許可いただき感謝いたします。

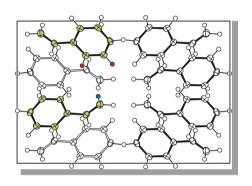
The Cambridge Structural Database (CSD)

ケンブリッジ結晶構造データベース



結晶構造解析法 ーものを「見る」・ものを「測る」ー

- その状態で測定し回収できる(非破壊分析)
- ・少量のサンプル(0.1mm角以下の結晶)
- 三次元構造が精度良くわかる唯一の方法

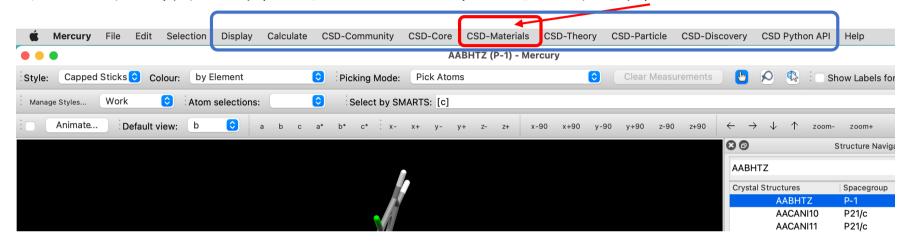


- 得られた個々の結晶構造は絶対的な価値を持つ。
- •結晶構造情報から構造科学を展開するには、データベース化 (CSD)、そして結晶構造データベース(CSD)の活用が鍵となる!

CSDを使いこなすツールとしてCSD-Materialsの機能を見ていきたいと思います。

CSD-Materials@ Mercury

分子間相互作用とその利用に関係するToolbox

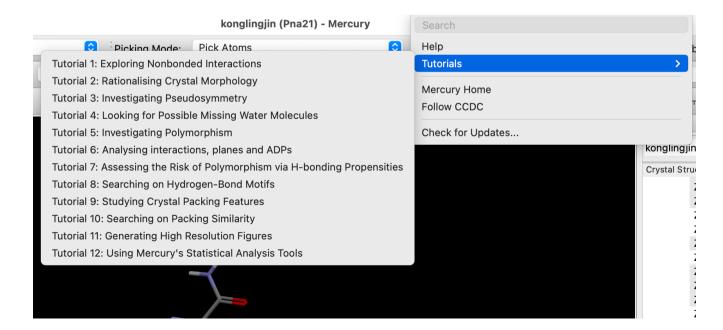


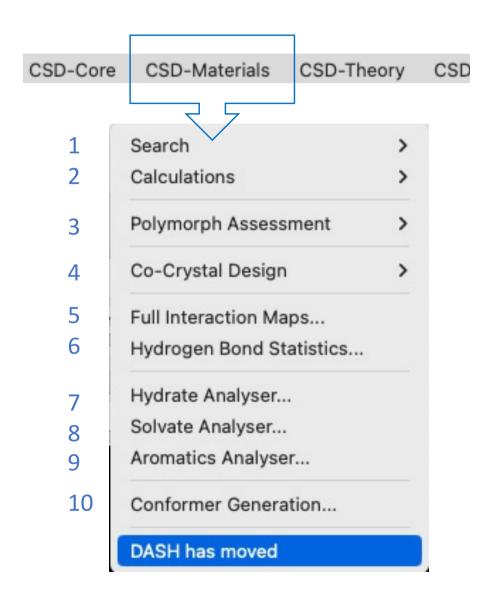
- Calculate: Packing, Contacts, Structure overlay(構造の重ね合わせ)など
- CSD-Community: Deposit, encifer, CellCheckなど(無料提供機能)など
- CSD-Core: Mogul(Geometry Check), IsoStarなど
- CSD-Materials: (本日のトピック) 分子間相互作用の利用に着目
- CSD-Theory: (新機能)結晶構造予測・Landscape Generator
- CSD-Particle: (新機能) 結晶の外形と表面の分析と表示
- CSD-Discovery: タンパク質結晶中の相互作用
- CSD Python API: Python言語で記述した機能(自作も可能)



参考:MercuryからアクセスできるCSD MaterialsのWebや文書

- CCDC Materials Web page
 - https://www.ccdc.cam.ac.uk/solutions/by-use-case/develop-new-materials/
 - ➤TOP / Support and Resources / Documentation & Resources / <Product = CSD-Materials> その他にYouTubeビデオもある。
- Mercury > Help > Tutorials > 1-12 (Please go through them)





大雑把に4つに分類する

検索

- 1. 様々なモチーフを検索する
- MOPACへのインターフェース、 力場計算による分子間相互作用
- 3. 水素結合の傾向から多形結晶が 存在しそうかどうか
- 4. 分子構造の相補性を利用した共 結晶生成可能性 相互作用
- 5. 分子間相互作用マップ(FIM)の計 算と表示
- 6. 水素結合の統計的評価
- 7. 水和物結晶構造の解析 **水和物**
- 8. 溶媒和物結晶構造の解析
- 9. アリール基間の相互作用
- 10. 可能なコンフォメーションの生 成

CSD-Materials 機能を大雑把に4分類する

1. 検索

- o水素結合、オリジナル分子配置の検索
- o結晶構造類似性比較

2. 水素結合・相互作用の評価

- o分子間相互作用マップ(Full Interaction Map)
- o水素結合可能性の定量評価(Polymorph Assessment)& 水素結合統計評価(Hydrogen Bond Statistics)
- ○分子間相互作用エネルギー (Inter-molecular potentials by UNI FF)
- ○アリール基間相互作用 (Aromatic Analyser)

3. 水和物・溶媒和物の評価

- Hydrate & Solvate Analyser
- 4. その他(Co-Crystal Design, Conformer Generation)

CSD-Materials 機能を大雑把に四分類する

1. 検索系

- o水素結合、オリジナル分子配置の検索
- o結晶構造類似性比較



Conquestによる手動検索と比べ、分子間(相互作用)の 検索に特化している検索。

- Motifs (水素結合等) モチーフ・synthonを検索する。 自分で条件をすべて入力するより楽(プリセットあり)
- Crystal Packing Feature より大きい構造(複数分子による分子配列など)を指定し類似の構造・配列を検索。
- Crystal Packing Similarity 結晶構造全体の類似性

検索

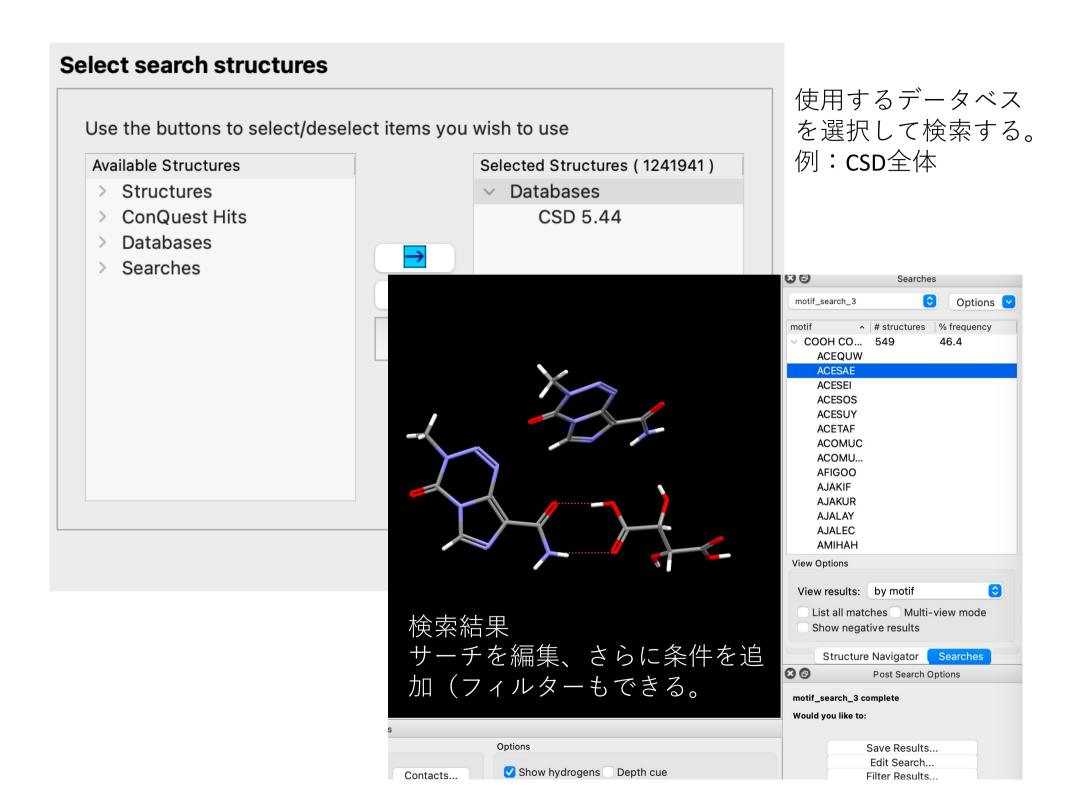
1. Search – Motifs

特定の結晶構造不要で調べられる

特定の部分構造の間の分子間相互作用(synthon) (特徴的な水素結合など原子…原子相互作用)を検索する。

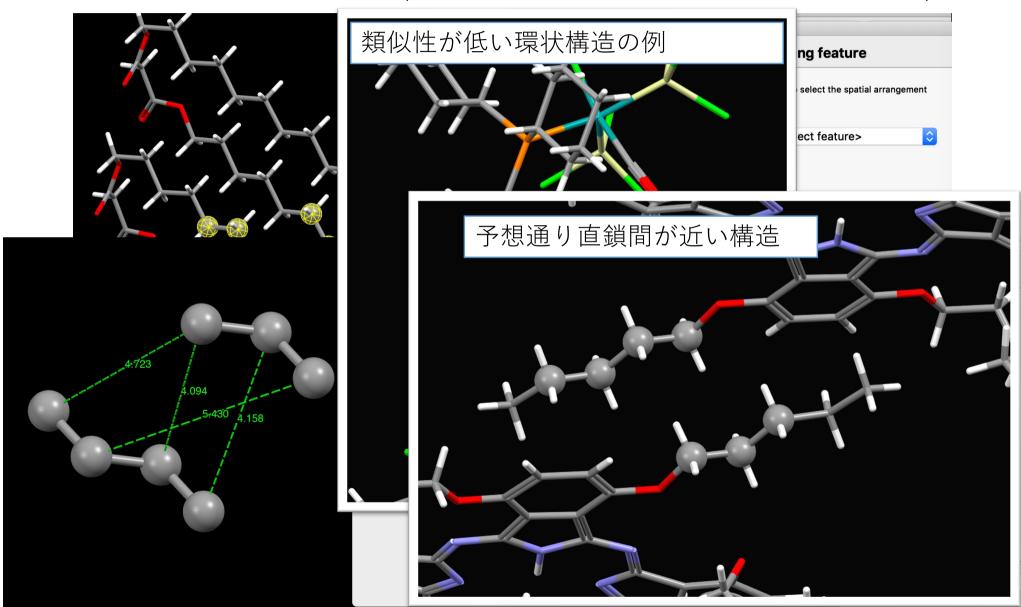
例:異種間COOH - CONH。 Select search motifs Select the motif(s) you would like to search for Use the 'select' button to select motif search queries from the list of available motifs. > homomeric heteromeric heteromeric COOH CON... Select one of the following options and then press 'Next COOH CNO... De-select Motif motifs, select the 'Create' option. COO HNCN... COOH CNC... Select motif option COOH OH R... COOH CON... COOH CNC... Select pre-defined motif(s) COO CNHC ... COOH CNC... Create new motifs COOH CCN... NH2CNH SO... Open a motif file (gmxml, mxml) COOH CONH2 R2,2(8) CONH(cis) Go Back Continue

- 著名な相互作用(水素結合)は予めセットしてあり複数選べる。
- #2 Create new motifs では官能基リスト利用や描画も可能



検索

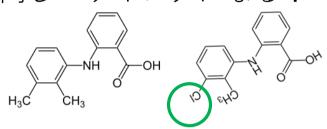
1- Crystal packing feature 任意の分子配置の検索を簡単に(パッキングモチーフ検索)

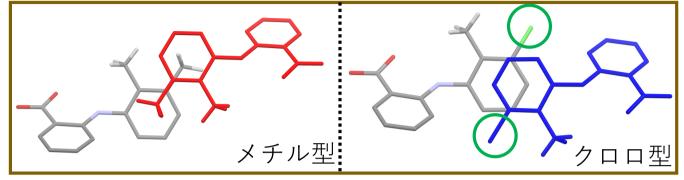


検索 1- Packing feature 実例 2

メフェナム酸とトルフェナム酸の配列の違い?

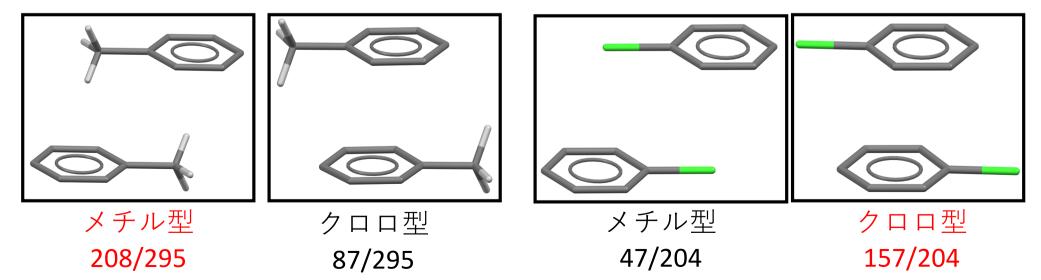
メチル基とクロロ基だけ 違うが、Me-CL交換則で 同じパッキングになる?





多成分結晶中の**MFA**-MFA(左)と**TFA**-TFA(右) のパッキングの違い:どちらが多いのか?

●これらの構造がCSDに含まれる件数を調べた

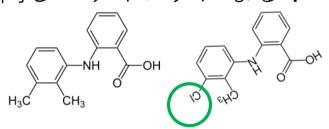


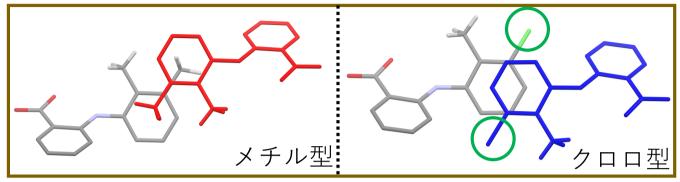
●実際の結晶構造中の構造は多く見られ、安定であった。

検索 1- Packing feature 実例 2

メフェナム酸とトルフェナム酸の配列の違い?

メチル基とクロロ基だけ 違うが、Me-CL交換則で 同じパッキングになる?



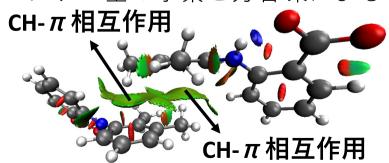


多成分結晶中の**MFA**-MFA(左)と**TFA**-TFA(右) のパッキングの違い:どちらが多いのか?

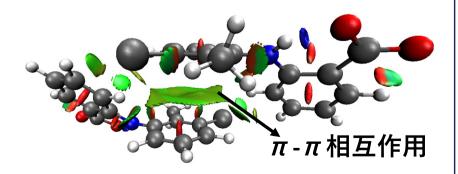
分子間相互作用(NCI plot) Mercury外の理論計算

NCI plot B3LYP/def2tzvp

メチル基の水素と芳香環による



*NCI: Non-Covalent Interaction(非共有結合相互作用)



MFA-MFA(左:メチル型)とTFA-TFA(右:クロロ型)のNCI plot

1 - Crystal Packing Similarity

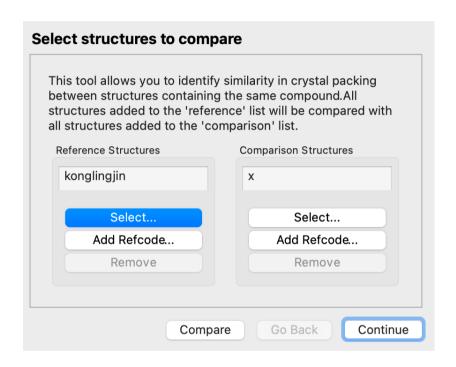
参照元となる結晶構造と、比較先の結晶構造を 指定して類似性(同一性)を調べることができ る。

- 多数の多形がデータベースに存在する場合、独立な 多形の数を調べる
- ・溶媒和物や塩、共結晶の間の結晶構造類似性を調べる る
- 結晶構造予測の結果から、実測の結晶構造と類似している構造を探す。
- 多形、溶媒和物、塩、水和物、共結晶など多成分結晶の構造類似性を定量化する

例:2つの多形結晶構造の類似性 Pna2₁(左)b軸(右)c軸投影 $P4_2/n$ (左)a 軸 (右) c 軸投影

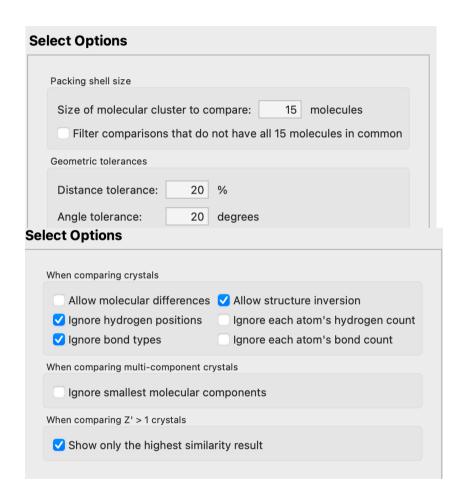
Favipiravirの多形構造を比較する。ヘリンボーン配置は似ているが、別の方向から見ると少し違う?

2つの多形結晶構造の類似性

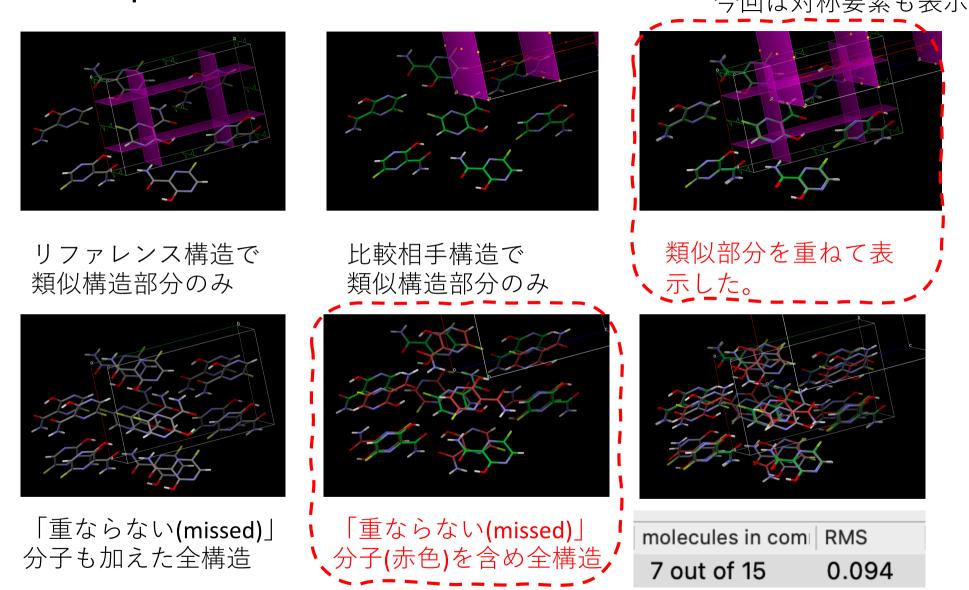


2つの構造を選んで、<u>Compare</u>=デフォルト条件で比較。 相手を複数(<u>CSD</u>全体も可能)選ぶこともできる。

Continueでは比較条件を設定できる。 使用する分子数や類似度でフィル ターをかける。



Compareによりデフォルト条件で比較_{今回は対称要素も表示}



 $Pna2_1$ と $P4_2/n$ の類似性の高い部分がある多形結晶。7/15個の分子が共通。残りは分子の長軸周りで反転していた。

CSD-Materials 機能を大雑把に 4 分類する

- 2. 水素結合・相互作用の評価
 - o分子間相互作用マップ(Full Interaction Map)
 - ○置換基間の相互作用ライブラリ(IsoStar)による分子周囲の相互 作用点を表示することで分子間相互作用の全体像を見る
 - ○水素結合可能性の定量評価(Polymorph Assessment)& 水素結合統計評価(Hydrogen Bond Statistics)
 - ○分子が水素結合を持つ可能性の評価、既存の 水素結合の評価
 - o分子間相互作用エネルギー (Inter-molecular potentials by UNI FF)
 - ○アリール基間相互作用 (Aromatic Analyser)

Calculations

Polymorph Assessment

Co-Crystal Design

Full Interaction Maps...

Hydrogen Bond Statistic

Hydrate Analyser...

Solvate Analyser...

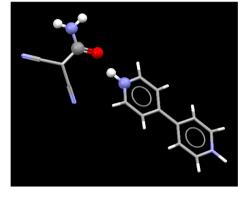
Aromatics Analyser...

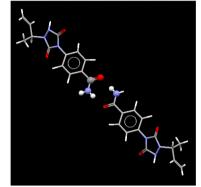
2 - Full Interaction Map (FIM) 供与体、受容体のあるべき場所を示す

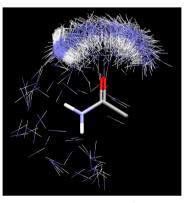
FIMの元になっているのはIsoStar相互作用データベース

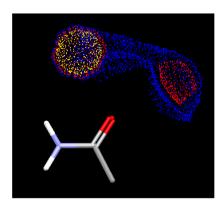
1つ1つが実際の結晶構造

アミドのカルボニ ル酸素がNHから水 素結合受容する例 → 実際の構造から編集した

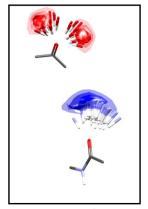


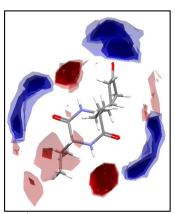




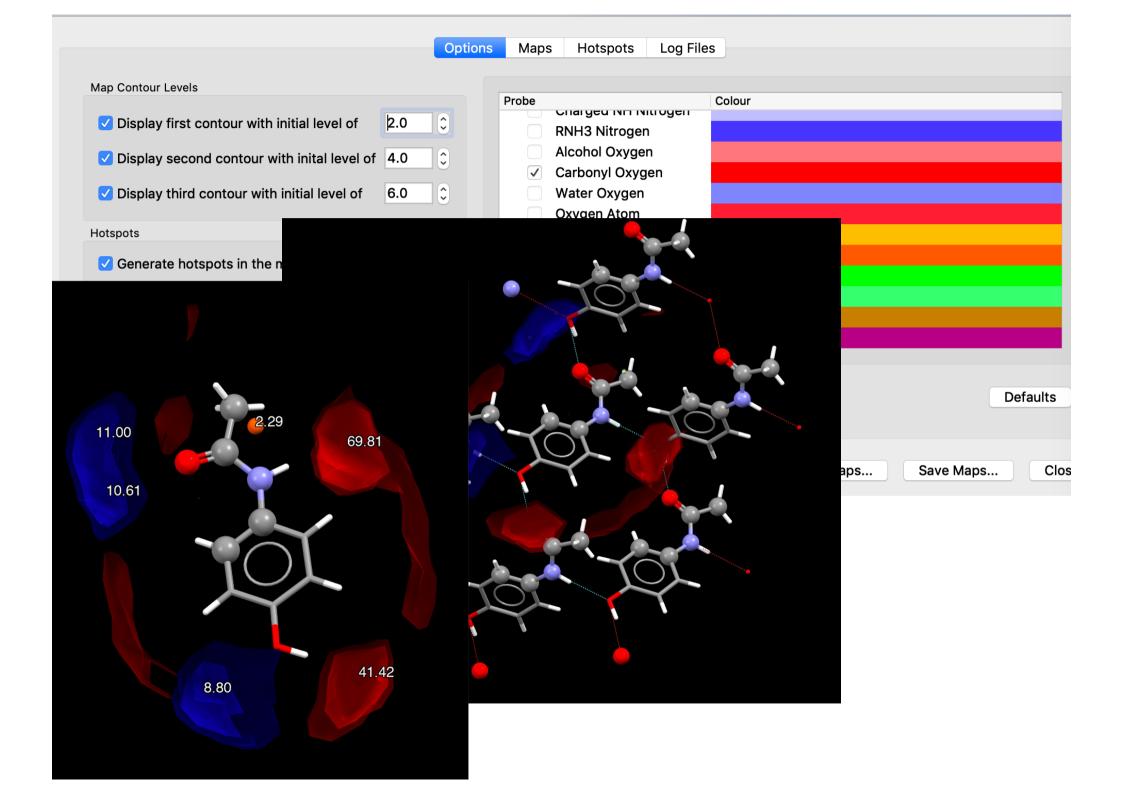




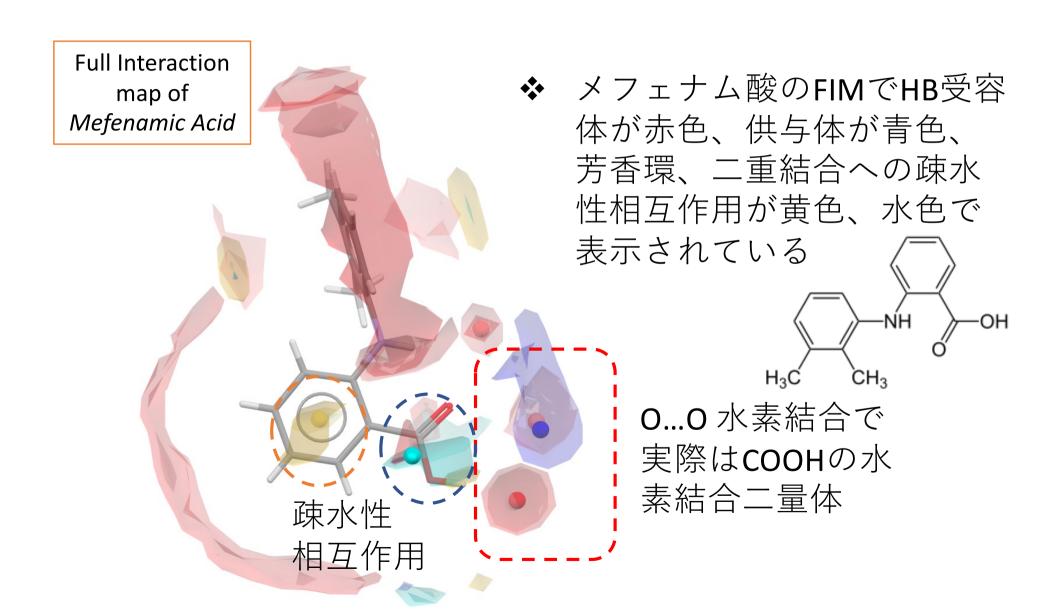


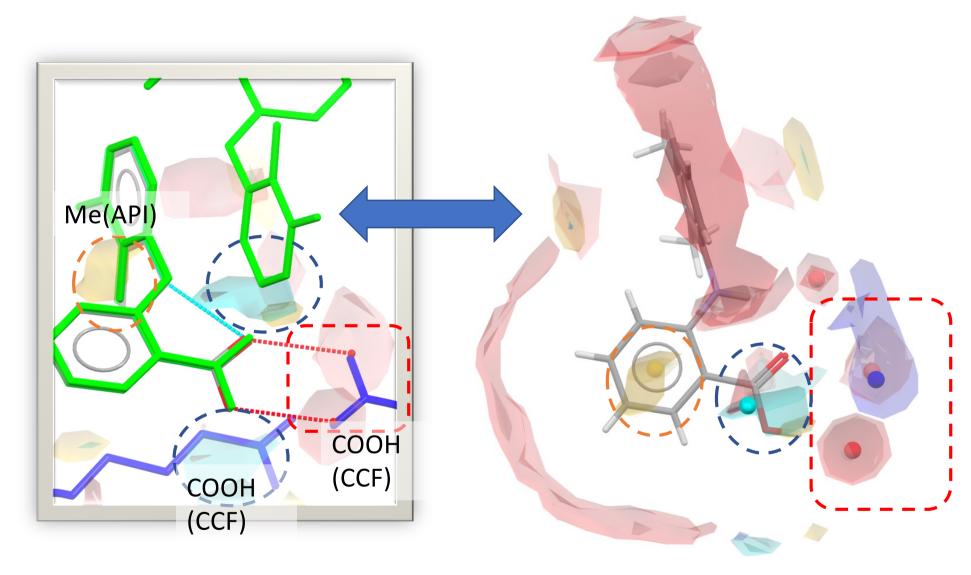


→ これを実際の分子構造に当てはめるとFIMになる FIM (右図) の赤は受容体、青は供与体がいるはずの位置



メフェナム酸のFull Interaction Map





実際に生成した共結晶(左図)もFIMで検討したところ、 予測された位置にCCF, APIの官能基が位置していた。こ うなるようなCCF(共結晶相手)を選択するとよい。

2 - Hydrogen Bond Statistics… 分子の水素 結合に関する統計情報

最初に水素結合の定義を指定し(デフォルトでOK)検索し、この構造中の水素結合の距離、角度が統計情報からみて普通か、普通でないかを判断します。

この例では、 $N(3)H_2...N(2)$ arの距離がやや 短いためUnusual赤文字で示されました。 角度には問題がありませんした。

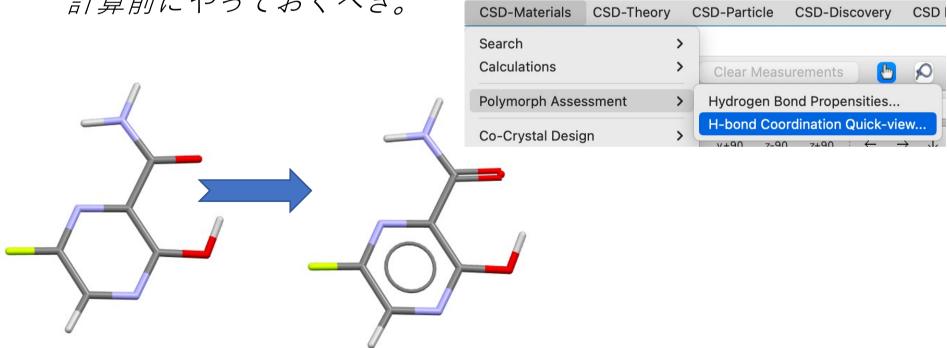
	Donor	Acceptor	Distance D-A	Distance classification	Distance threshold			stance nean	Distance std.dev.	Distance min.	Distance max.
1	N3 (carbamoyl_2)	N2 (ar _N_2)	2.96	Unusual	(2.99,3.36	5)	50	3.12	0.11	2.95	3.50
2	N3 (carbamoyl_2)	O2 (carbamoyl_2)	2.88	Not Unusual	(2.82,3.06	S) 2	2137	2.94	0.09	2.29	3.58
3	O1 (ar _oh)	O2 (carbamoyl_2)	2.59	Not Unusual	(2.50,2.62) 38		38	2.54	0.04	2.47	2.62
			Angle D-HA	Angle classification	Angle threshold	Angle hits	Angle mean	Ang std.c			
			136.18	Not Unusual	129.59	50	152.18	15.	.70 121	.69 173	.25
			167.78	Not Unusual	160.54	2137	173.61	7	.31 120	.03 179	.91
			145.23	Not Unusual	141.44	38	149.29	5.	45 130	.07 157	.31

2 - Polymorph assessment –結晶中の水素 結合を評価して検討する

• CSD-Materials > *Polymorph Assessment* > H-bond Coordination Quick-view… (分子の水素結合供与体D・受容体Aについて、一般論でHBの評価)

• Tips: 最初にEdit > Auto Edit Structure…で結合タイプを決める。 忘れると誤った結果となる。この操作は多くの機能で使うため、

計算前にやっておくべき。



			/		
	Atom (D/A)	= 0	= 1	= 2	= 3
1	N1 of carbamoyl (d)	0.006	0.075	0.849	0.070
2	O2 of ar_oh (d)	0.838	0.161	0.002	0.000
3	N2 of ar_n (a)	0.517	0.442	0.041	0.000
4	N3 of ar_n (a)	0.186	0.750	0.064	0.000
5	O1 of carbamoyl (a)	0.116	0.841	0.044	0.000
6	O2 of ar_oh (a)	0.763	0.225	0.012	0.000

観測された各ドナーおよびアクセプターが許容する、各配位数での尤度(like hood)を、CSD由来のモデルを用いて計算したもの。

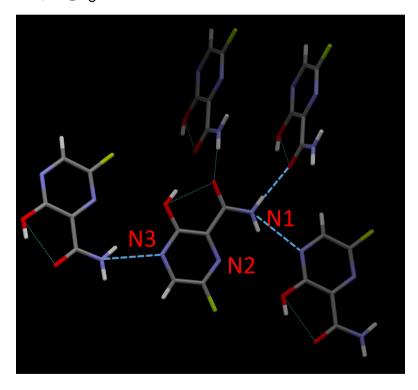
緑色太字:最尤度が観測された。

赤色太字:もっと可能性の高い

配位数がある。尤度の低い配位 数が観測された

Pna2₁の多形

 $-(C=O)-NH_2$ の NH_2 水素結合 供与体(d)は2 つのHBを持 つが、そのようなHB構造 はCSDでよく見られるとわ かる。



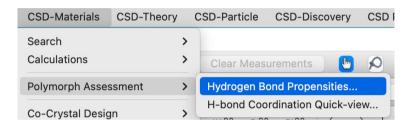
実際の水素結合

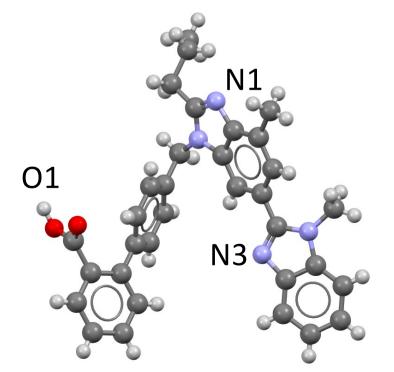
存在する可能性

2 - Hydrogen Bond Propensity (類似した結晶 構造と比較して水素結合様式を評価)

Mercury > CSD-Materials > Polymorph Assessment > Hydrogen Bond

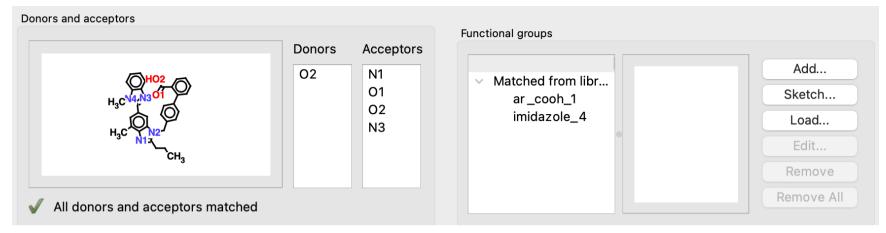
Propensities...





Telmisartan CCDC example XUYHOO($P2_1/a$) 多形B, XUYHOO01($P2_1/c$) 多形A 水素結合供与体はO(1)Hで受容体は2つあるイミダゾール環のN1, N3である。

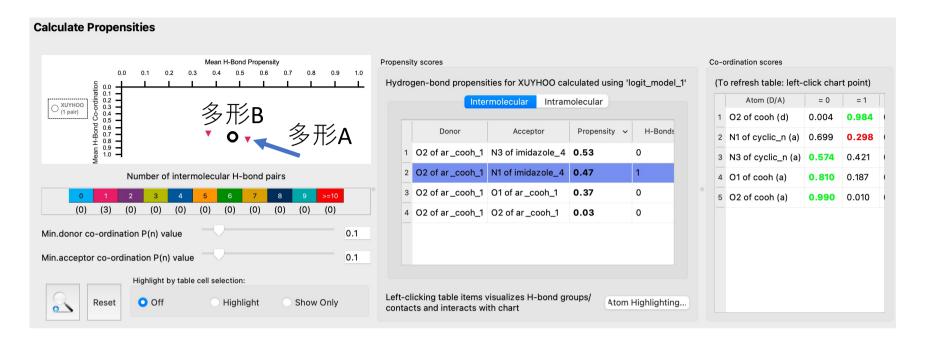
(両方の多形でOH…Nが観測され ているが、N3, N1の違いがある)



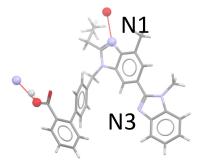
水素結合の供与体と受容体、官能基が認識されている

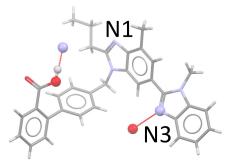
Generate Fitting Data									
Auto generate fitting data structures Generate Stop	666 structures in fitting data (good size) Analyse Cancel								
✓ Truncate data generation at #items — 2000	Analysis complete Press 'Fit Model'.								
Start analysis automatically Use the slider to obtain sufficient and even group representation		Category	Label	# True	# False	Ignore?			
		Donor(s)	atom_2_of_ar_cooh_1 (matches O2)	483	631				
		Acceptor(s)	atom_0_of_ar_cooh_1 (matches O1)	386	262				
	3		atom_0_of_imidazole_4 (matches N1,N3)	280	88				
Group Count Advise	4		atom_2_of_ar_cooh_1 (matches O2)	31	502				
1 ar_cooh_1 344 (good number	5		atom_3_of_imidazole_4	0	5	4			
2 imidazole_4 344 good number									

Generateにより類似した構造を探し、官能基をGood number含む数の構造があればstopしてよい(or Truncate)。 Analyseにより水素結合の成否を数える。

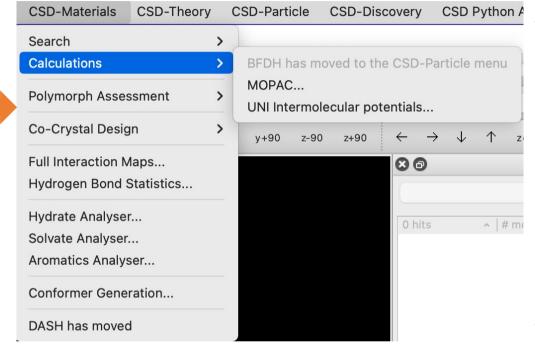


- X軸横軸が水素結合の可能性の値、 Y軸縦軸は出来やすい組み合わせか?
- グラフ: 右下側がより安定と言える。○がこの多形Bである。多形Aはグラフで右下の▼であり、水素結合様式はより安定。
- 中央の表: 多形Bで観測された芳香環-COOH(O2)からイミダゾール環(N1) への水素結合は0.47のスコアで、N3への水素結合なら0.53で少しスコアが 高い。多形Bで最も確率が高いものが観測されたわけではない





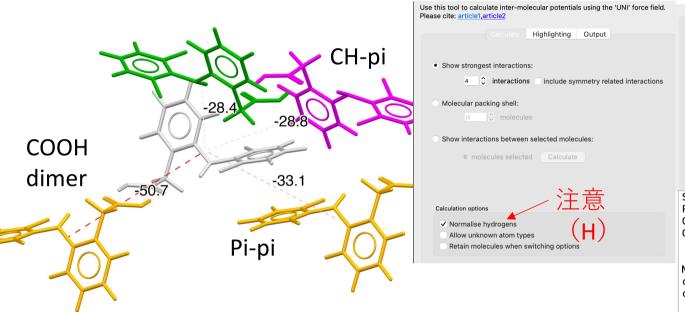
2. - Calculation



MOPACはオープンアクセスになった。 Openmopac.net MercuryはMOPACの入力ファイルを生成して実行するインターフェースを提供しており、 構造最適化を簡単に行うことができる。結果 の表示は正常に機能していないようだ。

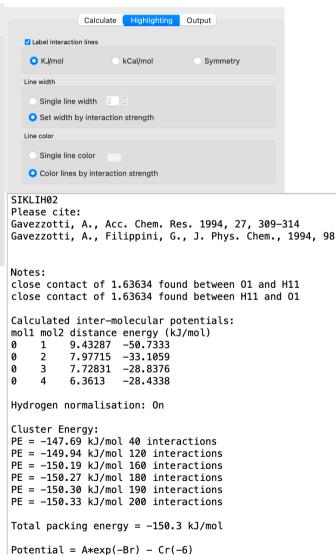
- (Bravais, Friedel, Donnay and Harker (BFDH) Crystal Morphologyは、結晶外形を推定する。CSD-Particleメニューに移動した。Particleは医薬品原薬などの結晶粒の評価(力場計算を含む)に特化した新しい機能)
- MOPACはMOPAC(半経験 的分子軌道法)へのインター フェース
- UNI Intermolecular potentials はGavezzottiによる経験的な UNI原子間ポテンシャルによる分子間ポテンシャルの計算を行う。一般的な有機物(元素)のみ計算できる。

2 - UNI intermolecular potential (力場 計算による相互作用エネルギー)



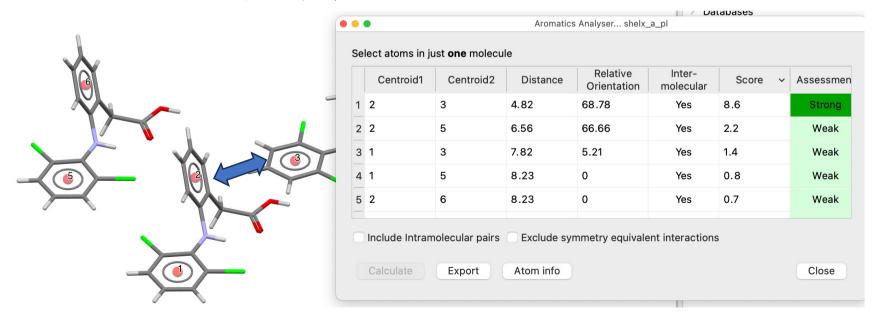
相互作用が強い分子ペアがわかって便利なので、よく使う。重なりの大きな分子が有利で必ずしも水素結合では決まらない。

元素の種類に制限。金属元素はNG。計算が高速 (1秒)な特徴がある。より新しい力場はCSD-Particlesにある。本格的なDFT等計算に劣る。



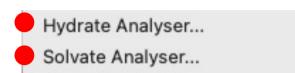
2 - Aromatic Analyserはアリール環どうしの相互作用とその強さを調べる

- 複素環には使えないことに注意!
- Edit > Auto Edit Structureで結合情報を生成しておく。
- 1分子を選んでCalculateする。
- ・距離、角度、スコア(7以上がStrong)が表示
- その行をクリックすると相互作用する環構造が表示
- Atom infoは原子毎の距離など



CSD-Materials 機能を大雑把に四分類する

3. 水和物・溶媒和物の評価 oHydrate & Solvate Analyser

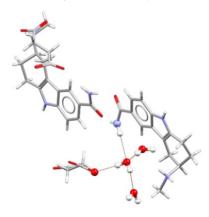


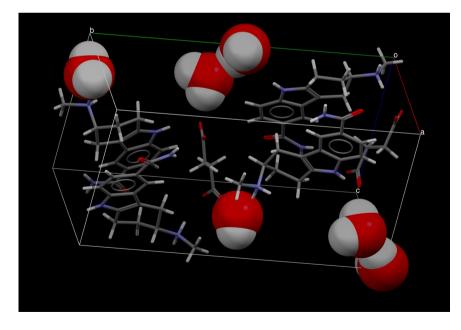
多成分結晶(Multi-component Crystal; MCC)の結晶構造を わかりやすく表示する。CCF (Co-Crystal Former)がどこに 入っているか?

水和物結晶ならCCFは水分子、それ以外の溶媒和物結晶や 共結晶、塩結晶など一般にも使うことができる。

3 - Hydrate Analyser - 水和物結晶構造の 理解

- 水和物結晶は複雑な相互作用を持つが、医薬品・農薬品として重要
- 水和物結晶の安定性などに関係する構造情報を視覚的にも得ることで、 構造に関する考察を深めることができる。
- ◎このソフトを使うと・・・
- 水和物結晶の特長を簡単にまとめる
- 水素結合モチーフの理解
- ・水が占める領域の解釈
- 水分子を含む配位高分子の理解



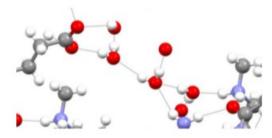


MEXSEP (CCDC example)

水和物結晶についての理解 Analyserを使ってわかること

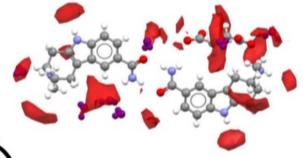
Hydrate

Water H-bond motif

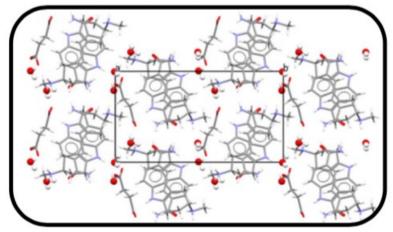


D	н	Α	d (/Å)	VdW-d
09	H46	02	1.975	-0.745
08	H44	03	1.821	-0.899
07	H41	04	1.937	-0.783
08	H43	07	1.916	-0.804
07	H42	09	2.013	-0.707
N5	H33	08	1.794	-0.926
09	H45	05	1.953	-0.767
N6	H35	07	2.365	-0.355

Water H-bond geometry

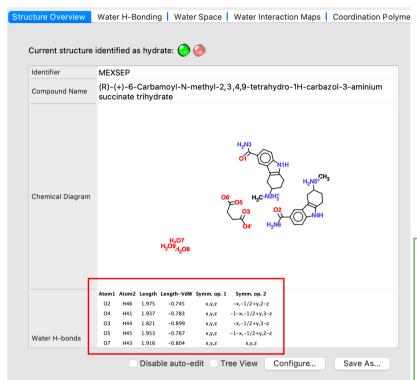


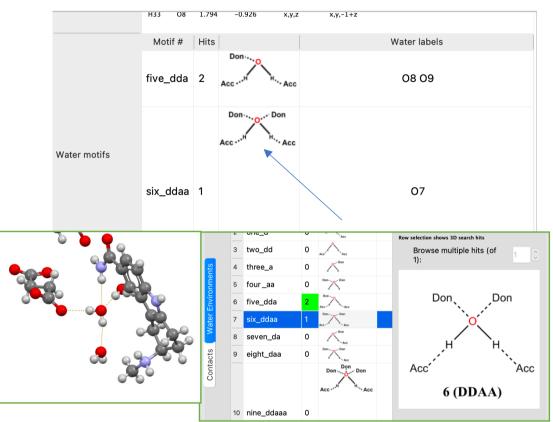
Voids Space



Water probe interaction map

MEXSEP (CCDC material)

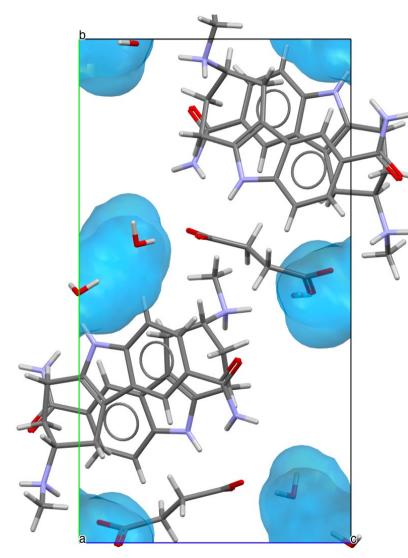


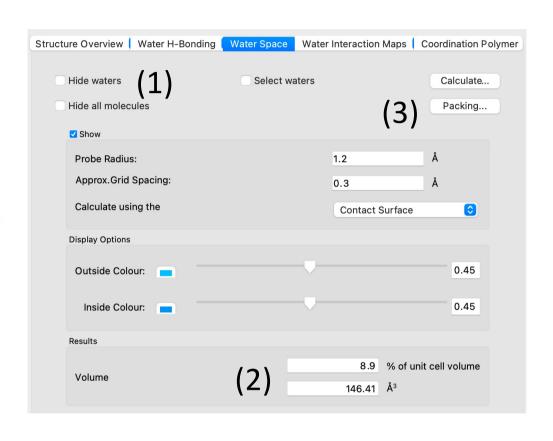


Structure Overviewでは、分子構造と水素結合を作る官能基の認識、水分子が作る水素結合の表、水分子が作るHBモチーフの分類番号などが表示される。Six_ddaaは、#6分類で、2本のHBを受容、2本を供与している。

Water Space tabでcalculate... 水を除いた時

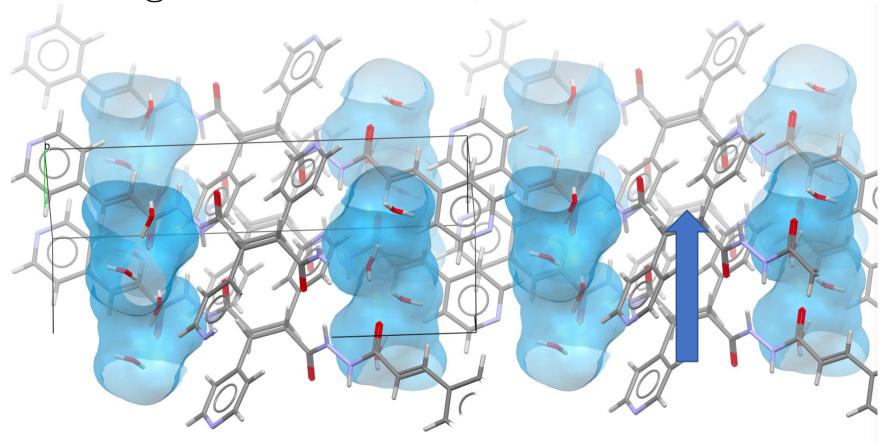
のVoidを表示する





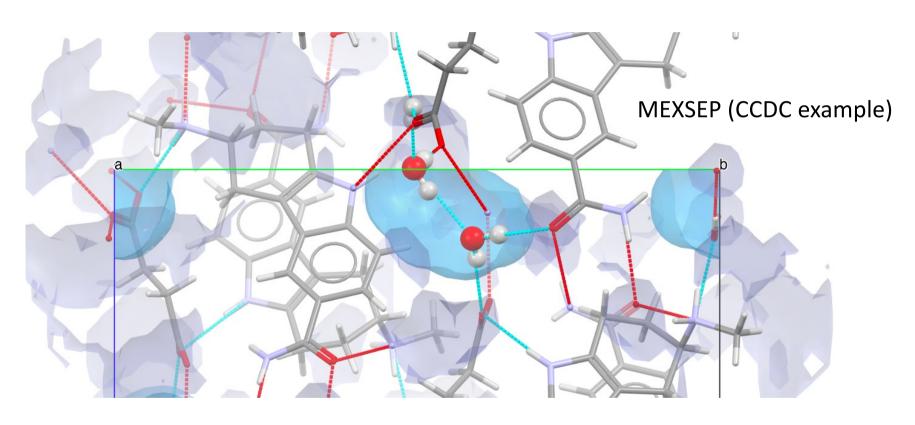
- **(1)**水分子は隠すことも書くことも できる
- (2)水分子の領域の体積を表示
- (3)パッキングの範囲を指定できる。

Packして単位格子を書く Water Space tabの Packing…から格子の数(2x2x2)を指定



ABENIGの例では、チャンネル水構造が見え、軸方向 に水が脱離する可能性を示唆

Water Interaction Map tab 水分子が水素結合するであろう受容体の位置を示すFIM

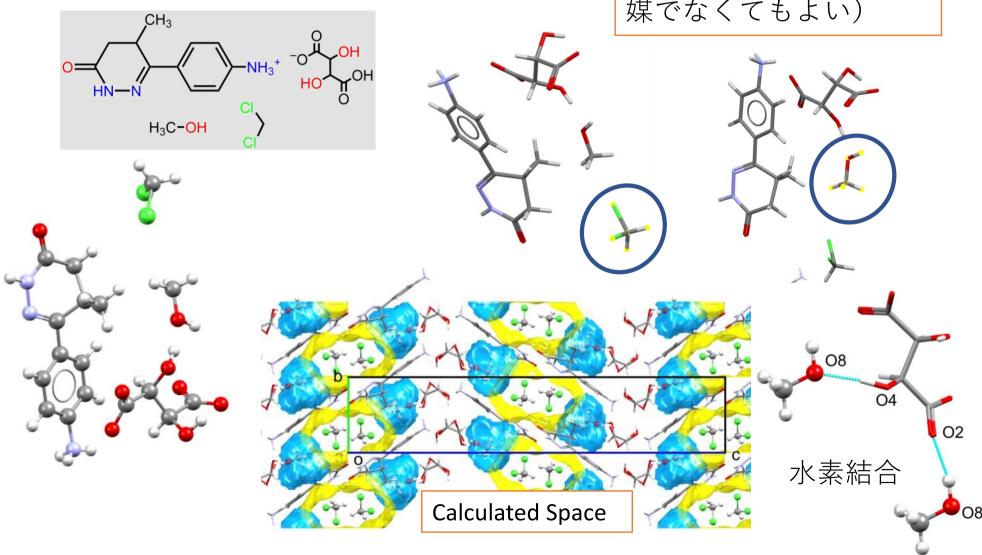


分子の水素結合受容体の位置を計算し紫色で表示。実際にその位置に水分子との間の水素結合が生じており、安定な構造であると言える

3 - Solvate Analyserは水以外や多種の溶

媒分子がある構造に使う

最初に溶媒とみなす分 子を選択しておく(溶 媒でなくてもよい)



CSD-Materials 機能を大雑把に四分類する

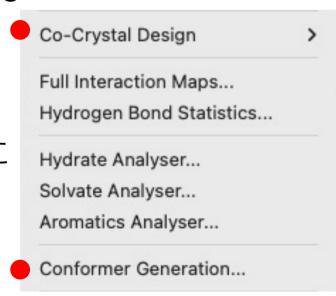
4. その他(Co-Crystal Design, Conformer Generation)

Co-Crystal Design

- ヘテロ原子、分子形状やサイズ、水素結合性、分極、双極子などを総合的に検討し、ある分子に対して、どの分子(共結晶相手、CCF)が共結晶を作るか検討する。塩は対象外。MW>300の分子も対象外。
- Cryst. Growth Des. 2009, 9, 3, 1436-1443

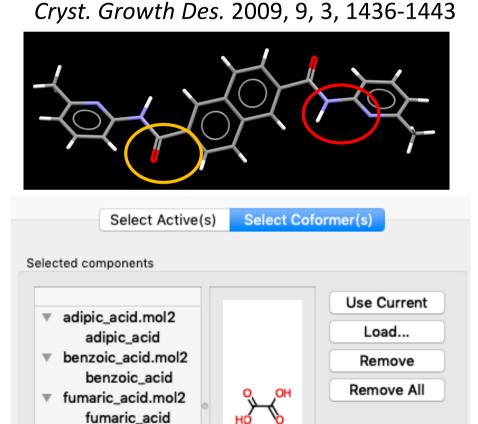
Conformer Generation

分子中のねじれ角をCSD中の分布に 当てはめ、エネルギーの低い コンフォーマーを作る。



4. Co-Crystal Design > Screen by Molecular Complementarity...

分子形状やサイズ、水素結合性、分極、双極子などを総合的に検討し、ある分子に対して、どの分子(共結晶相手、coformer)が共結晶を作るか検討する。塩は対象外



▼ oxalic_acid.mol2

oxalic_acid

- 2,6-Bis(((6-methylpyrid-2-yl)amino)carbonyl)naphthaleneの例(JOHPUR;論文から引用) を紹介する。
- オレンジ色(カルボニル)、赤色(NH, py がHBのD, A) は水素結合の可能性がある。
- 共結晶相手は、ライブラリーが予め用意してあるが自分で分子を追加できるが、コンフォメーションに依存することに注意。
- ライブラリのカルボン酸について計算する と、アジピン酸のみ可能性があった。

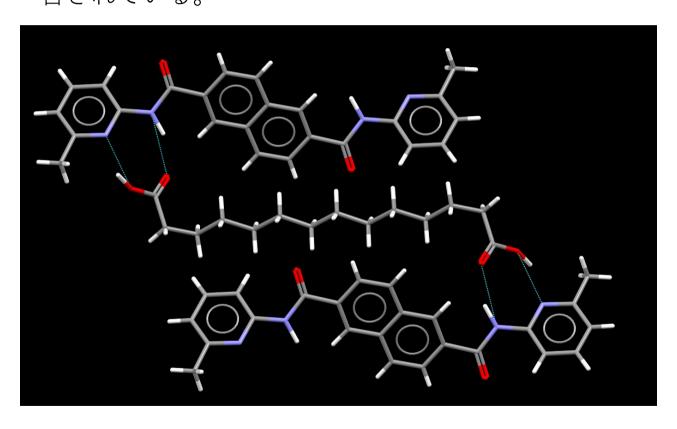
▼ JOHPUR adipic_acid 100 benzoic_acid 0 fumaric_acid 0 oxalic_acid 0

*分子コンフォメーション依存なので、場合によって

Conformer Generationで複数のコンフォメーションを生成する必要があることに注意。

JOHPUR

アジピン酸ではないがジカルボン酸との共結晶が報告されている。



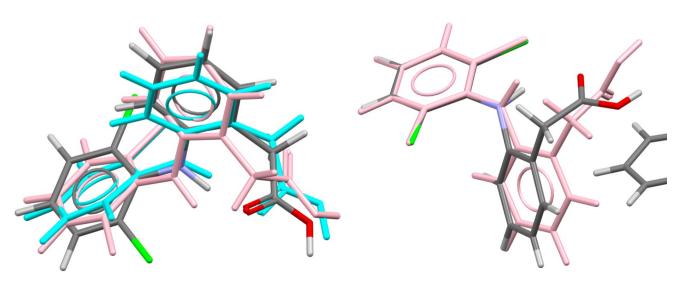
カルボン酸のようなDAを持つ分子と相性がよ さそうだと思われるが、分子形状や双極子な どにも依存する。

ライブラリを総当り した結果の一部

4-acetamidobenzoic_acid 100 4-aminobenzoic_acid 100 4-hydroxybenzoic_acid 100 D-alanine 0 D-glucuronic_acid 0 L-methionine 100 L-phenylalanine 100 L-proline 0 L-serine 0 L-tartaric_acid 0 L-tryptophan 100 L-tyrosine 0 N-ethylacetamide 100 adipic_acid 100
4-hydroxybenzoic_acid 100 D-alanine 0 D-glucuronic_acid 0 L-methionine 100 L-phenylalanine 100 L-proline 0 L-serine 0 L-tartaric_acid 0 L-tryptophan 100 L-tyrosine 0 N-ethylacetamide 100
D-alanine 0 D-glucuronic_acid 0 L-methionine 100 L-phenylalanine 100 L-proline 0 L-serine 0 L-tartaric_acid 0 L-tryptophan 100 L-tyrosine 0 N-ethylacetamide 100
D-glucuronic_acid 0 L-methionine 100 L-phenylalanine 100 L-proline 0 L-serine 0 L-tartaric_acid 0 L-tryptophan 100 L-tyrosine 0 N-ethylacetamide 100
L-methionine 100 L-phenylalanine 100 L-proline 0 L-serine 0 L-tartaric_acid 0 L-tryptophan 100 L-tyrosine 0 N-ethylacetamide 100
L-phenylalanine 100 L-proline 0 L-serine 0 L-tartaric_acid 0 L-tryptophan 100 L-tyrosine 0 N-ethylacetamide 100
L-proline 0 L-serine 0 L-tartaric_acid 0 L-tryptophan 100 L-tyrosine 0 N-ethylacetamide 100
L-serine 0 L-tartaric_acid 0 L-tryptophan 100 L-tyrosine 0 N-ethylacetamide 100
L-tartaric_acid 0 L-tryptophan 100 L-tyrosine 0 N-ethylacetamide 100
L-tryptophan 100 L-tyrosine 0 N-ethylacetamide 100
L-tyrosine 0 N-ethylacetamide 100
N-ethylacetamide 100
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
adinic acid 100
adipic_acid
alitame 0
apigenin 100
azelaic_acid 100
benzoic_acid 0
biotin 100
caprolactam 0
capsaicin 100
cholic_acid 100
citric_acid 0
ethylparaben 100
folic_acid 100

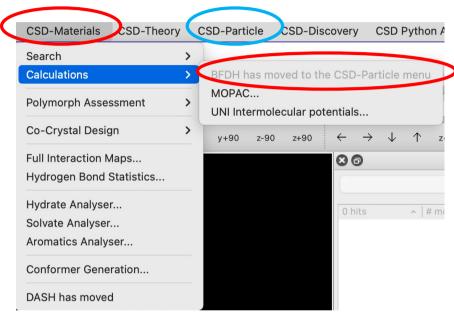
4 - Conformer Generation -conformerの生成(結晶構造でなくてもOK)

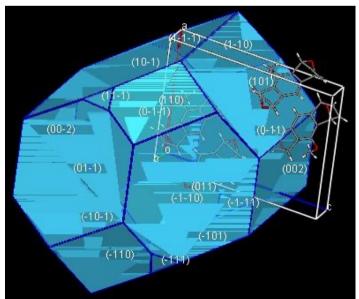
- CSDを使った結合回転 (torsional)データセットから可能性のある conformerを生成する。より安定なconformerも得られる可能性。
- 分子を表示してデフォルトの条件で計算を行うと、Mercuryの右側 (ナビゲーター)にconformerが並ぶ(デフォルトで200件)。
- Multiple Structures...を利用すると重ねることができる。



結晶構造解析より 前に、期待される 分子のコンフォ メーションを知る ことができる。

CSD-Particlesについて少し・・・





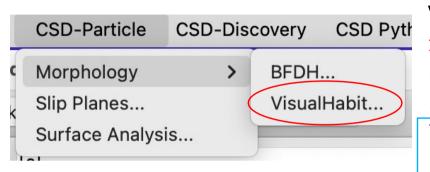
Calculation > BFDH (結晶形状の計算)は CSD-Particlesに移動されました。

Bravais, Friedel, Donnay and Harker (BFDH) Crystal Morphologyは、結晶面の面間隔(格子定数)だけから単純に単結晶の外形(晶癖)を予測します。例:最も短い軸方向(面間隔大)に結晶が伸びることが知られている。

左下の図のような結晶形状がすぐに表示され、単位胞との関係、分子配列との関係が理解できる。

結晶粒の物性はしばしば、面指数(hkl) やそれに対する分子の配列、結晶面に露出する分子の置換基(親水性、疎水性)に依存するため、結晶粒(単結晶)の性質を理解する上で、この機能は重要。(近年、Particlesには新しい手法が追加された!)

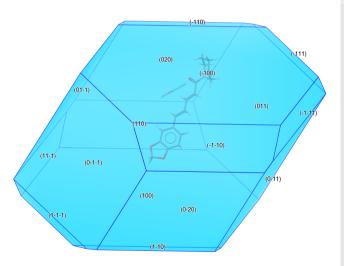
CSD-Particlesの中を少し見ましょう!



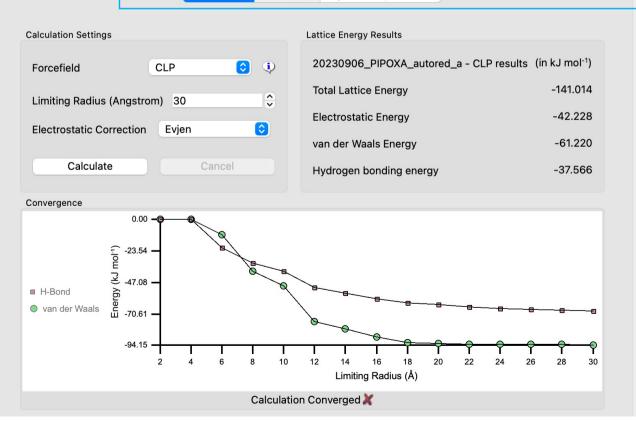
Visual Habitは、結晶表面の付着エネルギーを 最小にすることで結晶形状を予測する。エ ネルギー計算では力場計算を使い、格子エ ネルギーが計算される。

下図Visualiser(描画パラメータ)、Synthons (分子間相互作用)、Surface(表面分析)

Synthons



上:結晶形状 * Edit > auto editにより 結合の種別を決めておく こと。



Calculation

Visualiser

CSD-Particlesとは(医薬品原薬結晶を意識

https://www.ccdc.cam.ac.uk/solutions/by-use-case/understandparticle-behaviour/

- CSD-Particleは、粒子の挙動を理解し、製造上のボトルネックを 予測することで、調合の決定を支援するソフトウェアスイートで す。
 - 視覚的なツールと統計的なツールを組み合わせて、結晶粒子の力学的・化学的 特性を迅速に分析します。
 - 粒子の形状と表面を分析することで、付着性、濡れ性、打錠性などの製造上の 問題を予測します。
- 世界最大の実験的に決定された低分子有機結晶構造データベース から得られるビッグデータと、強力な分子分析アルゴリズムを活 用しています。シンプルなデスクトップインターフェースで、最 小限の計算能力で迅速に結果を得られます。



Predict particle facets.

Predict the particle shape by predicting which facets are available.



Evaluate particle surface interactions.

Gain insights into wettability, tabletability, flow, and sticking by understanding interactions at the particle surface.



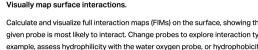
Determine H-bond dimensionality.

Assess hydrogen bonding dimensionality, and how discreet, 3D, or sheet hydrogen bonding impacts the mechanical properties of your product.



Visualize surface chemistry and charge.

Communicate the distribution of H-bond donors and acceptors on the surfacolour-coded graphics. See the potential causes of wettability, stickiness, electrostatic issues easily.



Visualize surface topology.

See surface roughness in clear, 3D graphics.



Identify potential slip planes, fast.

Determine mechanical properties and guide formulation choices to support tabletting, flow, and milling.



carbon.

Understand interactions within the crystal lattice.

Explore system shape and stability and see how internal bonding impacts su termination and exposed groups on a given facet.



Quantify surface chemistry and topology.

Compare facets, particles, or structures easily by quantifying the density of H-bond donors acceptors, aromatic bonds, unsatisfied H-bond donors, RMSD, surface area, rugosity kurtosis, and skewness

https://www.ccdc.cam.ac.uk/solutions/by-use-case/understand-particle-behaviour/

CSD-Particles (YouTube 少し古い 約2分)

https://youtu.be/E6xNmxHdJOI





まとめ

CSD-Materialsの機能

- 1. 分子間に拡張した検索
- 2. 分子間相互作用の可視化や評価
- 3. 多成分結晶の表示
- 4. 独立した機能(共結晶デザインなど)

注目したいのは、実際の結晶構造がなくても(結晶を作る前に)使える機能が豊富であること。結晶構造解析の前と後に有効活用できます!

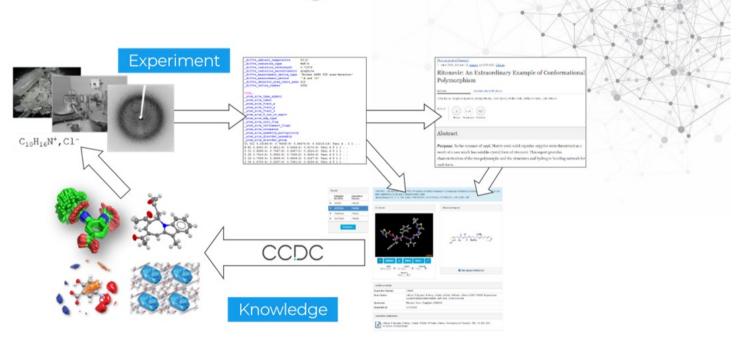
(例:対象分子のconformer generation, FIM, Motif, Cocrystal design, 水素結合、データベース参照など)

謝辞

CCDCの資料を参考にいたしました。ご快諾いただきありがとうございました。 化学情報協会 桜井尋海様から貴重な資料・情報をいただき感謝いたします。

データから構造へ、構造から知識へ

From data to knowledge



CCDC

正しい構造を得て、様々なツールを使いこなし、構造科学を展開しよう! (Figures courtesy of CCDC)